



414
A2991



工部卿之命：依之横濱製鋸所：於之
 造船場ノ開成及大ナル細工所ノ成就諸仕事
 開成ノ身當今製鋸所ノ規則：差加有益ナル
 見込ニシテ愛草ヲ肥田工部少丞君ト議決
 セリ先當今直ニ施行スヘキ愛草ノ庫ハ別
 紙ニ記載スル通港内取締倉庫並細工

政
府ノ兼諾ニ從タル規則ノ草案附添ノ

書
付

天
正
十
一
年
四
月
贈

2873



所考ノ規則ナリ

港内取締ノ規則ハ入港船ノ船長ニ取
布告可致ル事

夫ニ御ニ士官ハ諸買入物分配ニ及ハ
其入用ニ品送ニ取調古渡ヘキヲ専務
トスヘキ事

諸仕事ハ佛人士官ノ清合ニテ是正ノ通
成功取統メル事

横濱笑入港ノ日本船或ハ他所出張ル共
船長ノ依頼スル所ノ趣意ヲ明ニ知シガタ
ハ新規ノ日本士官ヲ専ラ其用ニ供ル
事 此士官ハ諸仕事頭ノ存意ニ従ヒ
メルルモ統領ヨリ外同人取扱メ用向
背差心又ハ妨ル事取成メル事
請負人並會計取扱メ及メ何モ要草

可致事件多し事

佛蘭西人ノ増減ハ迄當スルノ仕事ノ品ニ
依日本人擅業ノ為ニ容易ニ出来ル所ノ
仕事ハ品ニ依リお愛ル事

佛人條約ノ期限ニ至ル共統領ノ承諾
ヲ以テ首長其期限ヲ一年延シ得ヘク
此事

千八百七一年二月二十日

ウエルニ

横須賀製鐵所ニ於テ修造シ加ル諸船
取締之規則

入港ノ諸船分一ノ錨標的ニ碇泊スヘシ
若此標的ニ他船碇泊致居ルハ此標的
ノ外ニ碇泊スヘシ

石炭燃屑^{カラ}埃其外不淨物港内ニ決テ
お捨^ル中^ル至^ル右取除^ル用トメ^ルガバール
船名 毎日碇泊船迄^ル事

修船架或之修船場ニ可入船ハ火業
不致製鉄所ノ倉内ニテ置置事
修船場内ニ埃或ハ不淨物積ル事堅ク
不用埃其外修船場ノ岸ニ積置ル
製鉄所ヨリ掃除ス事
之ニ通

於横濱製鉄所當今ノ規則愛草之箇條

倉庫

製鉄所ニ於テ積込入用ニ諸品買入方
ハ直段ニ生産所ホリ吟味ニ且統領ノ
承諾ヲ請ニガタメ入札ヲ取扱フ所ノ別
段ノ士官ニ委任可致事

一等士官壹人 江東京政府ノ材木藏或
國中ノ山林ニテ材木切出ニ或ハ商人ヨリ

買入ルテ右調所ノ材木仕入方ニ至
委任スル事

別々人士官ハ麻布石炭練化石及石
ノ買入方ヲ可ニ扱ハ其地用向總テ

右式人士官ニ扱コトヲ以テ
尺度測方ニ至ハ常ニ倉庫掛所業

入札約定ニ結タル官負ノ前ニテ右測
事

訛物ニ任事ノ命令

修復或ハ新規製作物ノ註文ハ應答

スヘキ所ノ製鋼所首長ノ役所ニ於テ

請合ヘテ且右ニ依テ諸仕立ヲ指為シ

統領ニ動定スル事

修船架ノ為用ニ極タルタリフ 諸品價附 是迄

ニ通ニテ要草ノ産無シト尚又ドツク

貯船場タリフニ至テ同ク噸税ヲ以テ極

凡其外前以書簿之得へり所ノ諸
仕るノ為ニモ同様タリテ其定テ
其他ハ手習若諸品考當時ノタリ
從テ其常テ致事

略復並新理製作物ノ制定者ハ諸
は事首長ノ役所ニテお認めテ
る

細工所

製鉄所ヨリ直ニ價鉄お掛ル職人ヲ
之等ニ分テ即チ以抱職人平職人并
諸藩ヨリ召テ其務古職人ナリ
以米以抱職人ニ現米ハお渡テ其
吏故日ニノ價鉄お増テ
平職人病氣ノ事ハ医師ヨリ病症確
ト申立ル時ハ價鉄平分テお掛テ
其甚怪我イタレハ職人ハ減少無シ

金十匁銀十匁の辨り

製鉄所は於ては後日自身働かざる

難治の職人の扱ひは為すべからざる

トレツト 諸人の出入る積金 亦立度見込

る右規則を立上り

舊古職人の當人業前し力に應じ日

日ノ賃銀を辨りて去場所入の時

ツクトモ一ヶ年製鉄所におぼり

職人の預り世話録は所ノ頭役ニ必約
定うむ事

日本人新製機務役佛人の頭ノ令

下ニ有トモ無トモ職人の負數増働し

時寫及細工所用の諸道具目錄

ホリ細記スルヲお任せんを總テ右

部定ハ西洋數字ヲ以テ書記スヘキ

事

